

新型コロナから市民の健康を守るために

医療費負担 軽減を

高齢者の医療費値上げストップ！

政府が来年秋に導入しようとしている75歳以上の高齢者医療の「2割」窓口負担は、約20%の方が対象となります(年収で単身200万円、夫妻320万円以上)。通院は増えるのに年金は増えない高齢者にとって、重すぎる負担です。

コロナ禍でもあり、受診控えがおこると、さらに病気が悪化し、医療費も増えてしまいます。青梅市も反対の声を上げるように求めました。

補聴器の購入に公的な助成を！

難聴は認知症の危険性を高めます。なるべく早いうちに補聴器を使用することが大切ですが、15万円～30万円と高価で、ほとんどの人は公的な補助を受けられません。市が補聴器購入の支援をする場合には東京都が補助する制度があり、23区のうち11区が助成制度を設けています。私は市の購入助成を実施すること、相談体制を充実させることをあわせて求めました。

新型コロナは総合的な対策で

新型コロナの影響で、「収入がなくなった」など困窮している方の相談を受けています。減収を補う適切な補償や総合病院や地域の医療機関への支援を国や東京都が強化すること、誰もが安心して検査を受けられるようにすることが必要です。

ワクチンは万能ではないため、ほかの対策の強化をあわせて行うことが必要です。

青梅市ワクチン接種の概要

ワクチン接種は、週末に総合体育館(固定)、市民センター体育館(移動)で行われる集団接種が基本で(平日や夜間も別途設置)、予約制です。今後、ワクチンの追加など、情報は随時更新されます。ご不明な点などはお問い合わせください。



青梅市議会議員

藤野ひろえ

日本共産党青梅市議団

2021年4月

藤野ひろえ市議会報告

暮らしの相談、法律相談(要予約)は、お気軽にどうぞ！

「介護や、生活が苦しい。」「相続の事で困っている」など多くの相談が寄せられています。市にお願いしたり、弁護士さんを紹介して、解決の為に行動しています。何でも相談、ご要望などお気軽にご連絡ください。

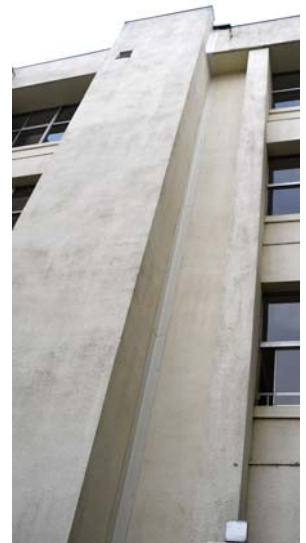
連絡先 090-4003-9987

第五小学校の外壁工事が行われます

昨年、視察した第五小や西中など、老朽化した外壁や屋上の防水補修工事が行われています。また、第五小では全面的な外壁工事が行われることになりました。



第五小学校は、昨年の調査で特に痛みが激しいことが判明。古いタイルや排水管の老朽化が目立ちました。



4階から外壁が落下した第一中学校。補修工事が行われました。築54年経過しており、全面的な工事が必要です。

コミュニティバスの実現を！ 「地域公共交通計画」策定へ



コミュニティバスの実現など、暮らしの「足」を確保することは、高齢化が進む中、急務となっています。青梅市は、2004年にコミュニティバスの運行を検討したものの、これを断念して以来、既存のバスの利用を促進することを対策の中心に掲げました。

しかし、現実にはバスは減便され、市の公共交通協議会内にも「計画の見直しを」と声が上がり始めました。そして、**いよいよ2021年度から、新しい計画(地域公共交通計画)の策定を行うことが決まりました。**

今度こそ、市民のくらしの実態に合った対策を実現させなければなりません。私は、商業施設や福祉施設などとも連携してコミュニティバスを運行することなど、積極的に提案していきます。ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください。

発熱外来に対応した新休日診療所



市の休日診療所は、新型コロナ以降、発熱等の患者さんには屋外で対応していましたが、患者さんの動線を分けることができる新しい休日診療所の建設が始まりました(健康センター横、駐車場内)。完成は6月末の予定です。「『発熱難民』を生まないように、発熱外来の強化を」と私たちも求めています。

小学生移動教室補助まで削る 新年度予算に反対

青梅市の2021年度予算は、小学6年生の移動教室への補助で260万円減(一人あたり2000円強)、小学校16校分の光熱水費で850万円減、同消耗品費で150万円減といった削減が行われました(中学校も同様)。

その一方で、「マイナンバーカードの普及」のためには、市役所の1階に2700万円もかけて「発行ブース」を設置するとしています。

6年生は中学入学の準備もあり、お金がかかります。コロナ禍で収入減の家庭が増え、不安への配慮や勉強の遅れなど、子どもたちへのケアに先生たちは苦勞しています。

517億円の市の予算の中で、節約するところが間違えています。また、身近な公共施設を削減する方針のもと、新市民ホールの建設が遅れていること、コロナ対策では無症状者への検査の拡充が行われないことなど、対策として不十分といった観点から、日本共産党青梅市議団は、新年度予算に反対しました(自民、公明、市民フォーラムの賛成で予算は可決)。



印刷代やエアコンも節約に

印刷代節約のため「子どもたちに配布する資料が刷れない」「PTAも学校に印刷代の負担を求められる」との声が、もともと聞こえていました。

さらに、節約を強ければ、コロナ禍の対応にも影響がでかねません。

今までも「夏にあまりエアコンをつけると、冬の暖房代がなくなる」と、言われてきました。コロナ対策で換気が必要なのに、光熱水費を減らして大丈夫でしょうか？」(市内小学校職員)

学校トイレ改修費の東京都補助

区市町村が学校トイレの改修を行う際に、東京都が補助を行う制度が2020年度をもって終了する問題は、**「あと2年間延長する」**見通しであることがわかりました。日本共産党青梅市議団は、昨年「延長を」と申し入れていました。

2年間延長!

